

吸湿性や粘性のある試料を上手くペレット成型する方法

吸湿性のある試料や粘性のある試料を窒化ホウ素と混合してペレット成型しようとする、ペレットが錠剤成型器に貼り付いてしまい、無理に剥がそうとするとペレットが破損してしまうことがある。ここでは、そのような試料を上手くペレット成型し、錠剤成型器から取り出す方法を紹介する。

使うもの

- 薬包紙（グラシン紙等のパラフィンフリーのもの）
- 穴あけパンチ（ $\phi 7$ mm, $\phi 10$ mm 等ペレット径に合うもの）
- 錠剤成型器
- 錠剤成型用プレス器

手順

1. 穴あけパンチの刃は、使用前にエタノールで拭いておく。
2. 薬包紙を4枚程度に折り畳み、穴あけパンチを使って切り抜いて、円形の薬包紙を作る。



3. 錠剤成型器の底面に、円形の薬包紙を敷く。



4. 通常の手順と同様に、錠剤成型器に混合粉末を入れ、軽くたたいて均一にならす。



5. ならした粉末の上に、円型の薬包紙を静かに置く。



6. プレス器でプレスし、ペレットを成型する。
プレス後のペレットを見ると、錠剤成型器に貼り付いたりせず、上手く取り出せている。



参考資料

φ7 mm 用パンチ



カール事務器 一穴パンチ φ7mm

φ10 mm 用パンチ



ビブフィックス専用パンチ φ10mm

2019年11月14日 高濱